

Okta Certified Professional Hands-On

Configuration試験(OIE)学習ガイド

Okta Certification試験の準備の詳細については、こちらの動画をご覧ください。

はじめに

おめでとうございます。Okta Certified Professional認定の取得に一步近づきました。

この試験学習ガイドは、受験者がOkta Certified Professional Hands-On Configuration試験(OIE(Okta Identity Engine))に備えるための学習教材として作成されており、Professional試験の範囲になっている項目のリストや、試験の準備に役立つ学習教材のリストが掲載されています。Okta Certified Professionalになるには、このOkta Certified Professional Hands-On Configuration試験(Okta Classic)に合格する必要があります。この試験は、Okta Administrator、Consultant、Technical Architectの各認定試験を受験する際の前提条件にもなります。

この学習ガイドの使い方

少なくとも本学習ガイドの試験の主題範囲セクションに掲載されている項目には、すべて目を通しておくことをお勧めします。各トピックを理解するように努めてください。この中に馴染みのないトピックがある場合は、対応する学習教材を活用するか、[Okta Help Center](#)もしくは[Okta製品ドキュメントライブラリー](#)を検索することをお勧めします。トピックによっては、Oktaサービスの「ハンズオン」を通して学ぶことがもっとも効果的な学習法である場合もあります。

Okta Certified Professionalになることの意義

Okta Certified Professionalは、安全なID管理の分野に関する基礎知識を備えています。Oktaサービスのユーザーをサポートする日々の運用タスクをハンズオンした経験があります。また、初歩的なディレクトリー統合やシングルサインオン(SSO)フェデレーション、ユーザーライフサイクル管理のアプリケーションプロビジョニング分野に関連したOktaのテクノロジーやプロセスに通じています。

Okta Certified Professional Hands-On Configuration試験(

OIE)の対象者

Okta Certified Professional認定資格を取得したい人は、Okta Certified Professional Hands-On Configuration試験(OIE)、またはOkta Certified Professional Hands-on Configuration試験(Okta Classic Engine)のいずれかを受験する必要があります。受験者は、次の最小要件を満たす必要があります。

- セキュリティーやID管理の分野で技術的な職務を1年経験していること
- Oktaサービスを業務で3~6か月使用した経験があること
- Oktaエッセンシャルズカリキュラムまたは同等のトレーニングを修了していること

組織によって役割は異なりますが、Okta Certified Professional認定の受験者となるのは、一般的に、安全なID戦略の定義、Oktaインスタンスの日常的な運用やサポートの支援に関わっている人です。この認定の受験者としては、Okta管理者、実装コンサルタント、IDリーダー、プロジェクトマネージャー、ビジネスアプリオーナー、ヘルプデスク管理者などが考えられます。受験者は、Okta Identity EngineとOkta Classicの各プラットフォームでOktaサービスを使用した経験に基づいて、選択するOkta Professional試験を決定する必要があります。

Okta Certified Professional Hands-On Configuration試験(

OIE)について

問題の数とタイプ	<p>この試験は2部構成となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1部:各肢正誤選択問題(Discrete Option Multiple Choice: DOMC)15問 ・第2部:ユースケース別の実技試験4問
時間配分	<p>第1部:30分</p> <p>第2部:120分</p> <p>時間は部ごとに測定されます。1つの部で余った時間をもう1つの部に使用することはできません。</p> <p>試験は150分に及ぶため、受験者は着席したまますべての試験を完了できるよう、準備を万端に整える必要があります。試験中には、休憩時間は設けられていません。</p>
受験料	250米ドル(その後再受験ごとに100米ドル)
前提条件	なし(推奨トレーニングと学習教材は、このドキュメントの後半にあるセクションに記載されています)

試験の予約

Oktaの認定資格試験は、セキュアなオンライン試験監督サービスであるExamity®によって管理および監督されます。Oktaは、Examityと提携して認定試験の完全性を確保しています。オンラインで試験監督が行われるため、受験者はテストセンターに足を運ぶことなく、都合の良いときにほぼどこからでもOktaの試験を受験できます。オンデマンド試験の追加料金がかから

ないようにするためには、少なくともOktaの認定資格試験を受験する24時間前までに予約する必要があります。試験は、Okta Certification Credential Managerから予約できます。

この試験に含まれる設問タイプについて

この試験の第1部には、各肢正誤選択問題(Discrete Option Multiple Choice: DOMC)が含まれます。第2部には、ユースケース別の実技試験が含まれます。

DOMCの設問タイプについて

この試験の第1部は、15問のDOMCで構成されています。DOMCは、信頼性の高い採点を行える強力な測定方法です。これは、テストされる知識やスキルに関係がないものの、試験結果に影響を及ぼすいくつかの「不要な要素」を取り除くことによって可能になります。DOMCの設問タイプでは、以下の点を改善することで、条件を公平にしてより公正にスキルを測定できます。

- 可読性。読まなければならないテキストの量を減らすことで、試験にかかる時間が短くなる傾向があります。そのため、読むのが遅い、または英語を母語としない受験者の負担を減らすことができます。
- 公正さ。抜け目のない受験者は、答えに自信がないときに、候補同士を比較したり、試験の他の設問から情報を収集したりすることで、手がかりを探します。DOMCは、このような受験者の優位性を排除し、実際の知識を評価するための強力な方法として機能します。
- セキュリティー。すべての候補が同時に表示されるのではなく、一度に1つの候補が表示されます。各候補が表示されるたびに、[YES (はい)]または[NO (いいえ)]を選択して、その候補が正しい回答と思うかどうかを示す必要があります。答えの候補はランダムに表示されます。ほとんどの場合、DOMCの設問に関連する利用可能な候補がすべて表示されることはありません。このように利用可能な候補の一部のみを表示することで、設問の露出を制限し、試験の完全性を確保しています。

DOMCの設問の採点方法

DOMCの設問タイプは、公正かつ正確に採点されます。

- 正しい候補が表示されたときに[YES (はい)]と回答した場合、その回答は[correct (正解)]と採点されます。DOMCの設問は、受験者が回答を完了し、正しく回答したと見なされるために、正しい回答を1つまたは複数求めるようプログラムできます。ただし、通常は正しい回答を1つのみ行うことが求められます。
- 正しい候補が表示されたときに[NO (いいえ)]と回答した場合、その設問は[incorrect (不正解)]と採点されます。
- 誤った候補が表示されたときに[YES (はい)]と回答した場合、その設問は[incorrect (不正解)]と採点されます。
- 誤った候補が表示されたときに[NO (いいえ)](厳密には正しい回答)と回答した場合、追加の候補が表示されてそれに回答するまで、その設問は採点されません。

注: 設問に対して正しくまたは誤って回答した後にも、追加の正しいまたは誤った候補が表示される場合がありますが、それらの候補に対する回答はまったく採点されません。これは、回答の正解または不正解を受験者が推測できないようにするために行われます。

受験者は、DOMCの設問形式に対して通常の試験とは異なるアプローチを取る必要があるかもしれません。このような手間をかけることで、認定を受けた受験者は、試験で出題された分野における能力を実際に持ち、その分野で卓越した成果を挙げられることを証明できます。

DOMCの設問の詳細については、<https://domc.caveon.com/home>にアクセスしてください。Okta Professional Hands-On Configuration模擬試験(OIE)を受験すると、新しいテスト形式に慣れることもできます。Oktaの認定資格試験を受験する前に、この設問タイプの形式に慣れておくことを強くお勧めします。

この試験におけるユースケース別の実技試験について

この試験には、Okta Orgへのアクセスに必要な認証情報(試験開始時に割り当てられます)と4つのユースケースが含まれます。Okta Orgの認証情報と4つのユースケースは、試験画面のタブからアクセスできます。各ユースケースは複数の構成タスクから成っており、受験者は割り当てられたOkta Preview Orgでそれらのタスクを完了することを求められます。この試験で受験者は、管理者が業務でOktaを使用するのと同様の自然な方法で、Oktaサービスに関するスキルを持っていることを証明できます。

一部のタスクは前のタスクが正常に完了していないと完了できないため、ユースケースとタスクを順番どおりに完了することをお勧めします。

ユースケース別の実技試験の採点

ユースケースは、試験の提出時、またはこの試験に割り当てられた150分が経過したタイミングですぐに採点されます。この試験の採点には、採点ルーブリックが使用されます。採点プロセスは、Oktaテナントのログをクエリーするスクリプトと、特定の構成を検証するAPIにより自動化されています。このプロセスはプログラムポリシーであるため、最終的な合否の判断のみが行われます。具体的なスコアを提供したり、試験の合格最低点を公開したりすることはありません。

試験の提出

ページの一番下に[Submit Exam (試験を提出)]という青いボタンがあります。すべてのユースケースを完了し、試験を提出する準備ができたなら、このボタンをクリックします。それ以外の場合はクリックしないでください。ボタンをクリックすると、確認のポップアップが表示されます。[YES, SUBMIT NOW (提出する)]ボタンをクリックすると、試験が終了して提出され、採点が行われます。

Are you sure you would like to submit and finish this exam?

YES, SUBMIT NOW

NO, CONTINUE WORKING

試験の提出後、採点が終わると、成績レポートが画面に表示されます。このレポートには、暫定の試験結果に加え、第1部と、第2部のユースケースにおける成績情報が試験セクションごとに記載されています。

いずれの試験にも最大3営業日をかけて監査が行われます。最終的な試験結果は、3営業日もかからずに受け取ることができますが、場合によっては、最長3営業日かかることもあります。

Okta Certified Professional Hands-on Configuration試験(OIE)の準備

Oktaの講師によるトレーニングコース、自分のペースで進められる学習、自己学習、業務での経験を組み合わせることで、この試験に備えることができます。この学習ガイドに加えて、各認定資格試験には、関連する標準模擬試験とプレミアム模擬試験(有料)が用意されています。Okta試験の準備用として唯一承認されているのは、これらの学習教材とOkta認定トレーニングコースのみです。

ブレインダンプなどのその他の学習教材は、承認済み学習教材リストに基づいて使用が禁止されています。こうした学習教材を使用して試験準備を行うと、試験のスコアが無効になり、認定資格が取り消され、プログラムでのテスト実施が禁止される可能性があります。Okta試験の準備用に承認された学習教材かどうか確信が持てない場合は、当社の担当チームにメール(certification@okta.com)でお問い合わせください。

トレーニング

Okta Education Servicesでは、この認定資格試験の準備に役立つさまざまなクラスやトレーニング教材を提供しています。トレーニングクラスに参加してもOktaの認定資格試験に合格できるとは限りませんが、この試験に備えてOktaエッセンシャルズカリキュラムを受講することを強くお勧めします。Oktaエッセンシャルズコースの詳細は、<https://www.okta.com/services/training/>から確認できます。

検索フィールドに「Oktaエッセンシャルズ」と入力して条件を絞り込んでください。Oktaエッセンシャルズでは、以下の方法を学習できます。

- Oktaを組織に統合して、ユーザーがアプリケーションやデータに簡単にアクセスできるようにする。
- Oktaの各種機能を把握して、Oktaへの投資から最大限の価値を引き出す。
- データへのアクセスおよびデータ管理用のユーザーアカウントを、Okta内で作成および構成する。
- 外部ディレクトリーを統合して、すべての従業員が安全にアプリケーションにアクセスできるようにする。
- グループを作成および管理して、ユーザーとアプリケーションの効率的な関連付けおよびプロビジョニングを実現する。
- 従業員が企業のデータに安全にアクセスできるよう、アプリケーションを構成する。
- パスワードポリシーや多要素認証などの制御を構成して、データのセキュリティーを高める。
- Oktaをカスタマイズして、企業のブランドにマッチさせる。
- さまざまなエラーに対処して、トラブルシューティングのテクニックを学ぶ。
- アプリケーションの使用状況を監視し、認証エラーを分析することで、従業員やアクセスの問題を迅速に解決する。

コースの全カタログについては、<https://www.okta.com/services/training/>にアクセスしてください。

その他のリソース

- Okta Help Centerには、この試験の出題範囲に関連する記事やビデオのナレッジライブラリーが用意されています。
- Oktaコンテンツライブラリーでは、試験前に確認しておくべき情報が多数含まれる検索可能なホワイトペーパーを提供しています。
- Oktaコミュニティに参加すると、質問、ディスカッション、アイデア、ブログの閲覧を通じて、試験の準備に必要な追加の情報を得ることができます。

Professional試験の主題範囲

第1部の主題範囲

次の表に、この試験の第1部で出題される主題を示します。これらの主題は主題範囲にグループ化されており、主題範囲は試験セクションごとにまとめられています。このリストを概要として参照しながら、学習の指針を立て、この試験の第1部の受験準備ができているか確認してください。

IDとアクセス管理	20%
シングルサインオン(SSO)フェデレーション	
指定されたユースケースに基づいて、SAML、WS-FED、OIDCのどれを使用すべきかについての知識を示す	学習教材： <ul style="list-style-type: none">● OIDCアプリの統合● SAMLアプリの統合
IdP起点フローとSP起点フローの違いについて知識を示す	学習教材： <ul style="list-style-type: none">● SAMLアプリの統合● SAMLを計画する
単一ディレクトリーの統合	

<p>Oktaを使用したActive Directory統合オプションの知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Active Directoryユーザーをオンデマンドでインポートする ● 複数のOkta Active Directory Agentをインストールする ● Active Directory統合の前提条件
<p>ユーザーライフサイクル管理</p>	<p>27%</p>
<p>ディレクトリーとしてのOkta</p>	
<p>Universal Directoryの目的に関する知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーアカウントについて ● グループルールを作成する
<p>カスタム属性、マッピング、データ変換の知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Active Directory属性のOktaプロパティへのマッピング

	<ul style="list-style-type: none"> ● プロビジョニングページでのアプリケーション属性をマップ
プロビジョニング	
Oktaユーザーの状態とステータス(アクティブ、一時停止、パスワードのリセットなど)をどのような場合に使用するかについての知識を示す	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ユーザーアカウントについて
アプリの割り当て、要求、自動化を使用してアプリケーションをユーザーにプロビジョニングする方法の知識を示す	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● オンプレミスアプリケーションのプロビジョニング ● アプリケーションでユーザーをプロビジョニングする
セキュリティ	27%
基本的な多要素認証(MFA)	

<p>オーセンティケーター、要素タイプ、メソッドの特性、登録、リセットに関する知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 多要素認証 ● MFAオーセンティケーターについて
<p>ポリシー</p>	
<p>Oktaポリシーのタイプとその機能に関する知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● グローバルセッションポリシー ● 認証ポリシー
<p>デバイス、パスワードレス認証、Okta FastPass</p>	
<p>パスワードレス認証とOkta FastPassの知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● デバイス ● Okta FastPass
<p>Okta Verifyの知識を示す</p>	<p>学習教材：</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Okta Verifyオプションを構成します ● 多要素認証

管理とトラブルシューティング	27%
ロギングおよびレポート	
Okta System Logおよびレポートについて理解していることを示す	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● お客様のデータの保持ポリシー ● レポート ● System Log
ダッシュボードの[Tasks (タスク)]セクションを使用してタスクを監視できることを示す	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● タスクを監視する
カスタマーサポートの実践	
ヘルプとサポートプロセス(Trust.okta.comとOkta Help Centerを含む)の知識を示す	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> ● Okta Statusページ ● サポートケースの作成方法 ● Oktaカスタマーサポートおよびカスタマーサクセスサービス

第2部の主題範囲

次の表に、この試験で評価されるユースケースおよびタスクを示します。このリストを概要として参照しながら、学習の指針を立て、この試験の受験準備ができているか確認してください。

ユースケース	ユースケースに関する試験の割合
アカウント作成	25%
<p>構成タスク:</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザーを作成する• カスタム属性を作成する• 管理者ロールを割り当てる• ユーザープロフィールを更新する• グループを作成する• グループルールを作成する• ユーザーをグループに割り当てる	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none">• ユーザーを管理する• 管理者• ユーザー属性の編集• グループについて• グループルールについて• ユーザーをグループに手動で割り当て
OINを使用したアプリケーションセットアップ	30%

<p>構成タスク:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Okta Integration Networkからアプリ統合を追加する • インバウンドSAMLを設定する • ライフサイクル管理をセットアップする • アプリケーションにグループを割り当てる • ユーザーがアプリケーションにアクセスできることを確認する 	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> • Okta Org2Orgアプリケーション用にSAML 2.0を構成する • アプリの統合のためのプロビジョニング構成 • 単一アプリをグループに割り当て • ユーザーを管理する
<p>セキュリティの強化</p>	<p>25%</p>
<p>構成タスク:</p> <ul style="list-style-type: none"> • オーセンティケーターを追加または削除する • オーセンティケーターの登録オプションを構成する • グローバルセッションポリシールールを作成する • 認証ポリシーおよびルールを定義する 	<p>学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none"> • 多要素認証 • 認証登録ポリシーとルールについて • グローバルセッションポリシー • 認証ポリシー
<p>属性のマッピングとオフボーディング</p>	<p>20%</p>

<p>構成タスク:</p> <ul style="list-style-type: none">• 属性マッピングを定義して、Oktaからアプリケーションに属性をプッシュする• ユーザーを非アクティブ化する• ユーザーが非アクティブ化されていることを確認する	<p>受験準備用のビデオ学習教材:</p> <ul style="list-style-type: none">• Profile EditorでOkta属性をアプリの属性にマップ• ユーザーアカウントの非アクティブ化と削除• ユーザーを管理する
---	---

Okta Certified Professional模擬試験

試験当日の雰囲気を把握するため、無料のOkta Professional標準模擬試験(OIE)を受けて、DOMCの設問タイプの形式に慣れておきましょう。以下のボタンをクリックして模擬試験を受けてください。

[Okta Professional標準模擬試験\(OIE\)](#)

Okta Professional Hands-On Configurationプレミア模擬試験(OIE)を受けて、Okta Certified Professional Hands-On Configuration試験(OIE)の受験準備が整ったかどうかを確認しましょう。このプレミア模擬試験では、Okta Certified Professional Hands-On Configuration試験(OIE)で評価される主題範囲と構成タスクの多くが評価されます。以下のボタンをクリックして模擬試験を受けてください。

[Okta Professional Hands-On Configurationプレミア模擬試験\(OIE\)](#)

この試験作成を担当したエキスパート

Oktaの認定資格試験は、Oktaサービスの実装と管理の豊富な実務経験を持つエキスパートによって設計および作成されています。

以下に、この試験の設計および作成に大きく貢献したエキスパートのリストを示します。

Pratik Bhatt

Jordan Bowman

Andrew Candella

Chul Choi

James Garvin

Mohammad Ghaffar

Brandon Hunt

Patrick Linnane

Bryan Ly

Bill MacAusland

Alka Maurya

Pascal Pierre-Louis

Arvindkumar Thakor

John Alexander Vasquez